

## つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成 30 年度)

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	1 2	2 3	日曜	8 : 3 0	1 3 : 0 0	東市民センター	1 2 名
活動名称	門松教室					報告者：吉井	

＜主な活動内容＞ イベント活動の場合の参加者数(98)人

8:30 スタッフ集合準備開始 参加者が午前中に終われるよう、例年より早く8:30スタートとした。多目的ホールにブルーシートを敷き詰め、10個のテーブルを配置した。各テーブルに4組の親子が集まり、門松作りを行なう計画である。12/8竹切り作業で斜め切りを行った竹材を市民の森から運んだ。

9:00 受付開始

予約していた参加者が続々来場、当日キャンセルもあって、37組が参加となった。

イベント開始前30分で東市民センター用サンプル作成

9:30 イベント開始 竹林の現状説明と門松作成の説明

いつもの資料で竹の説明と、門松の作り方説明をおこなった。

昨年から鶴ヶ島市の燃えるゴミ規定が変更されたため、40cmの高さの門松作りを説明

9:40 門松作り開始

今年は、竹を自分で切る参加者が多く、外で電動鋸を用意していたが、余裕があった。いつものことであるが、一生懸命竹を切る子供達を見ていると、このイベントを開催して良かったと思える。

11:15 小休止で市民の森に竹林探検

綺麗に整備している竹林だが、子供たちが飽きもせず、走り回るのを見ていると、竹林 や雑木林などの自然環境がいかに大切か実感できる。

11:30 門松仕上げ 門松の形を整えたり、紙飾りを追加して門松を仕上げた

12:00 門松鑑賞会 各々が作った門松を床に飾り、みんなで鑑賞会を行った。

感想を聞くと、竹切りに苦勞したこと、飾りつけが楽しかったの意見多し。

13:15 イベント終了 参加者・スタッフ全員で後片付け

次回検討事項 テーブルに番号をつけ、受付で作業テーブルを知らせる

いきなり松・南天・梅の取り合いが始まり、作業場が狭くなる、竹組み立ての後に徹底させる。

門松材料を1組以上持ち去る参加者がいたそうです。 1組分の材料を知らせて、量管理を徹底する。

開始前に協カスタッフにプログラムを説明し、担当を決める。門松の作り方のプリントは、受付で組枚に配布する。 途中の休憩タイムをやめて竹林の探検は最初に実施するのが良い。

協力団体；広域おやこ劇場ひき北いるま、杉下地域支え合い協議会

＜里山参加会員＞

佐野、小沼、牛島、吉井、松井、小澤、石川、風祭、橋本、上見、室、柳川＜活動写真＞

